

大阪大谷大学  
平成29年度 入学試験問題（一般前期）

日本史

**注意事項**

1. 問題冊子は、全部で6ページです。解答用紙は1枚です。
2. 解答用紙の所定欄に受験番号・氏名を記入してください。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入してください。
4. 問題冊子は持ち帰ってください。

【1】次の史料A・Bを読み、設問に答えよ。

A

乙丑、詔して曰く、「聞くならく、墾田は①養老七年の格に依りて、限満つる後、例に依りて収授す。是に由りて農夫怠倦して、開ける地復た荒る、と。今より以後は、任に私財と為し、三世一身を論ずること無く、咸悉くに永年取る莫れ。其の親王の一品及び一位は五百町、二品及び二位は四百町、三品・四品及び三位は三百町、四位は二百町、五位は百町、六位已下八位已上は五十町、初位已下庶人に至るまでは十町、但し郡司には、大領・少領に三十町、主政・主帳に十町。若し先より地を給ふこと茲の限より過多なるもの有らば、便即ち公に還せ。……」と。

<設問>

(1) 史料Aには、田地の拡大と土地支配の強化とをはかって政府が発布した法令のことが述べられている。この法令は一般に何と呼ばれるか。

(2) 史料Aの法令は天平15年(743)に出されたものである。その時の天皇は誰か。

(3) 下線部①「養老七年の格」も、田地の拡大を目指して制定されたものである。それは一般に何と呼ばれるか。

(4) 「格」とは何か。簡単に説明せよ。

B

裁断せられむことを請ふ、当国の守藤原朝臣元命、三箇年の内に責め取る非法の②官物、并せて濫行横法三十一箇条の□□（愁状）

一、裁断せられむことを請ふ、③例挙の外に三箇年の収納、暗に以て加□（徴）せる正税四十三万千二百四十八束が息利の十二万九千三百七十四束四把一分の事……

一、裁断せられむことを請ふ、交易と号して誣ひ取る絹、手作の布、信濃の布、麻布・漆・油・苧・茜・綿等の事……

一、裁断せられむことを請ふ、三箇年の池溝并せて救急の料稻万二千余束を宛て行はざる事……

一、裁定せられむことを請ふ、守元命朝臣、庁の務無きに依りて、郡司百姓の愁を通じ難き事……

一、裁断せられむことを請ふ、元命朝臣が子弟郎等、郡司百姓の手より雑物等を乞ひ取るの事……

一、裁断せられむことを請ふ。守元命朝臣、京より下向する度毎に、④有官・⑤散位の従類、同じき不善の輩を引率するの事……

一、裁断せられむことを請ふ、去る寛和三年某月某を以て諸国に下し給はるる九ヶ条の官符の内に、三ヶ条を放知せしめ、今六ヶ条を下知せしめざるの事……

以前の条の事、憲法の貴きを知らむが為に言上すること件の如し。……望み請ふらくは件の元命朝臣を停止して良吏を改任せられ、以て将に他国の牧宰をして治国優民の褒賞を知らしめむ。……仍て具さに三十一箇条の事状を勅し、謹みて解す。

永延二年十一月八日……

<設問>

(5) 下線部②「官物」とは何か。簡単に説明せよ。

(6) 下線部③「例挙」とは定例の「出挙」を指す。「出挙」とは何か。簡単に説明せよ。

(7) 下線部④「有官」とは何か。簡単に説明せよ。

(8) 下線部⑤「散位」とは何か。簡単に説明せよ。

(9) 史料Bに関連して述べた下の文章を読み、空欄 [ a ] ~ [ d ] に適切な語句を記せ。

律令体制の弛緩が進むとともに、私腹をこやし巨利をあげる国司があらわれ、その地位は利権視された。私財を出して朝廷の儀式や寺社の造営などを助け、その代償として国司などの官職を得る [ a ] や、同じ国の国司に再任される [ b ] も行われるようになった。国司の中には現地に赴任せず、代わりに [ c ] を国衙に派遣して、国司としての収入を得る者もあらわれた。これを [ d ] とよぶ。

【2】次の文章Aおよび史料Bを読み、設問に答えよ。

A

1858年、江戸幕府の大老井伊直弼は、勅許を得られないまま [ a ] 条約を結び、ついでオランダ・ロシア・イギリスなどの諸国とも同様の条約を結んだ。これらの条約を総じて [ b ] の五カ国条約という。

幕府が結んだこれらの条約は、いわゆる不平等条約であったため、明治新政府が成立すると、条約改正は国家的課題となった。中でも [ c ] の撤廃と [ d ] の回復とが最重要課題とされた。

1871年には、[ e ] を全権大使とする使節団が欧米諸国を訪問したが、条約改正のための予備交渉は目的を達することができなかった。以後、寺島宗則、①井上馨、②大隈重信、青木周蔵など歴代の外務卿・外相が改正の努力をつづけたが、いずれも失敗に終わる。のちに [ f ] 外相のもとで [ c ] の撤廃に成功し、[ g ] 外相のもとで [ d ] の完全な回復も達成された。

B

[ h ] 皇帝陛下ノ政府ハ、③日本ヨリ清国ニ向テ求メタル講和条件ヲ査閲スルニ、其要求ニ係ル [ i ] 半島ヲ日本ニテ所有スルコトハ、常ニ清国ノ都ヲ危フスルノミナラズ、之ト同時ニ朝鮮国ノ独立ヲ有名無実トナスモノニシテ、右ハ将来永ク極東永久ノ平和ニ対シ障害ヲ与フルモノト認ム。随テ [ h ] 政府ハ日本国皇帝陛下ノ政府ニ向テ重テ其誠実ナル友誼ヲ表センガ為メ、茲ニ日本国政府ニ勸告スルニ、[ i ] 半島ヲ確然領有スルコトヲ放棄スヘキコトヲ以テス。

<設問>

- (1) 文章Aの空欄 [ a ] ～ [ g ] に適切な語句を記せ。
- (2) 下線部①「井上馨」は、条約改正交渉を促進するため、極端な欧化主義をとった。この政策のもと、建設された外国人接待施設は何と呼ばれるか。

(3) 1882年に下線部②「大隈重信」を党首として設立された政党名を記せ。

(4) 史料Bの空欄 [ h ] には国の名称が入る。その国名を記せ。

(5) 史料Bの空欄 [ i ] には清国の地名が入る。その地名を記せ。

(6) 史料Bに述べられた出来事は何と呼ばれているか。

(7) 下線部③が指す条約の名称を記せ。

【3】次の文を読み、文中の空欄 [ a ] ～ [ j ] に適切な語句を記せ。

近世には安定した幕藩体制のもと、学問研究が盛んにおこなわれた。

江戸時代、ふつうに「学問」といえば儒学を指したが、正統として幕府や藩に歓迎されたのは、室町時代の五山の禅僧たちが学んでいた朱子学だった。近世朱子学の祖と呼ばれるのは [ a ] であり、その門人で、徳川家康に用いられた儒官が [ b ] である。[ b ] の子孫は代々儒者として幕府に仕えた。

朱子学の一派である南学派の谷時中に学んだ [ c ] は、朱子の到達した知を「体認する」ことを目指した。朱子学理論を俗語を混えた和文で易しく解説し、講釈によって人々に語りかけ、門下六千人といわれた。神道を儒教流に解釈して [ d ] 神道を説いたことでも知られる。

[ c ] の学派を激しく批判した [ e ] は、古文辞学を唱え、古代中国語による経書解釈を目指した。それは孔子・孟子の古典に立ち返ろうとした伊藤仁斎らの古学派の流れを受けたものでもあった。

儒学の発達に、合理的な思考を発達させた。木下順庵の高弟で 6 代将軍徳川家宣にも仕えた [ f ] は、古文書に基づく実証的な研究をおこなって『読史余論』をあらわし、武家政権の推移を段階的に時代区分した。

また福岡藩に仕えた儒者 [ g ] は、「通計五百種」といわれるほどの膨大な著作群を残した。主著『大和本草』は、植物・動物・鉱物の薬用効果を分類整理する [ h ] 学の大著である。

江戸時代後期には、『古事記』『日本書紀』『万葉集』など古典の文献学的研究に基づきつつ、国家意識とも結びついて国学が成立した。荷田春満や賀茂真淵は古典研究に基づき日本古代の思想を追求した。

はじめ儒学・医学を学んだ [ i ] は、賀茂真淵に師事し、『古事記伝』ほか多くの著作をなしたが、その研究は言語学的研究、文学論、上代の生活・精神を理想とする古道説など、多方面にわたる。

文献学研究では、[ j ] が出色の存在である。七歳で失明したが、優れた記憶力により和漢の諸学に通じ、幕府保護のもとに和学講談所を設立した。彼が編纂した『群書類従』は、日本の古代から江戸初期に及ぶ広範な史料を編集・校訂し、現在も資料的価値を失わない一大叢書である。